

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		美術館
	06	01	01	06	01	

政策
市民に愛される美術館

政策の内容

国宝・重要文化財の積極的な展示や、デジタルを活用するなど時代のニーズに合った魅力ある企画を考案し、来館することへの期待や楽しみを持てるような展覧会を開催するとともに、美術館の新たな魅力の創出を推進します。館蔵品の展示、調査研究を継続して行うことで、文化や時代のつながりとなる新たな視点を示します。学校教育の場において芸術に触れる機会を提供し、次世代のリピーターとなる環境づくりを図るとともに公募展を継続して行い、学校や地域等との連携を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
芸術・文化の場	あなたの暮らしている地域では、音楽や芸術を鑑賞できる場や文化活動に参加できる場が整っていると感じますか。	2.68	2.77				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

市民の知性や感性を刺激する魅力的な展覧会などを開催するとともに、質の高いアートなどの創作活動への支援や活動を活発化させる情報発信の取り組みを進めている。

時代のニーズに合った展覧会を開催することで、リピーターだけでなく、新たな層の獲得を図ることで美術館の認識を広げ、来館することへの期待や楽しみ、芸術に触れる機会を提供できる環境づくりを図る必要がある。また、市民公募展を継続して開催することで、文化活動に参加できる環境づくりを支援する必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	199,836				
決算	185,691				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	8.0				
会計年度任用職員	2.0				
暫定再任用職員(フルタイム勤務)	1.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
維持管理事業	美術館の管理運営 ①消耗品及び備品の購入 ②維持管理に要する光熱水費 ③建物修繕、工事 ④保守管理の業務委託	41,224
		40,349
資料収集保存事業	美術館の資料収集・保存 ①資料収集を行うにあたり、審査会を実施する。 ②所蔵作品の安全な管理と適切な作品修繕を行う。	9,960
		9,042
平常展覧会開催事業	平常展の開催 ①第3展示室にて浜松市美術館の収蔵作品を使った、小規格の展示を行う。 ②市民公募展を開催する。(募集作品:絵画、書、写真、工芸、彫刻)	4,529
		3,383
企画・特別展覧会開催事業	時代のニーズに合った展覧会の開催(企画展・特別展を実施) ①国内外の優れた作品の展覧会を開催する。 ②地方都市の特色を生かし、地域ゆかりの作家や、作品を取り上げた展覧会を開催する。 ③浜松市美術館収蔵の作品を、様々な視点からテーマ設定した展覧会を開催する。	68,307
		57,102
秋野不矩美術館管理運営事業	秋野不矩美術館の指定管理者を浜松市文化振興財団へ委託する。 ①施設維持管理状況を監督する。 ②特別展、所蔵品展の運営を監督する。 ③収蔵作品管理状況を監督する。	75,816
		75,816

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
展覧会開催数 (回)	企画展・特別展の開催 数	文化活動に参加するための場と して展覧会開催回数の実績を 測る指標であり、実績により満 足度の向上に寄与すると見込 んでいる。	目標値	-	2	3	3	3	3
			実績値	3	2				
			達成率	-	100%				
ワークショップ実 施数(回)	ワークショップ開催回数	文化活動に参加するための場と してワークショップ開催回数 の実績を測る指標であり、実績 により満足度の向上に寄与すると 見込んでいる。	目標値	-	3	3	3	3	3
			実績値	4	5				
			達成率	-	167%				
市展開催(回)	市展開催数	文化活動に参加するための場と して市展開催回数の実績を測る 指標であり、実績により満足度 の向上に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	1	1	1	1	1
			実績値	1	1				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
展覧会観覧者数 (人)	企画展・特別展の来場 者数	文化活動に参加するための場と して来場者数の実績向上によ り、多くの方の関心や参加の場 の提供としての実績が測れるこ とで、満足度の向上につなが ると見込んでいる。	目標値	-	69,000				
			実績値	30,563	19,833				
			達成率	-	29%				
ワークショップ参 加者数(人)	ワークショップ参加者数	文化活動に参加するための場と してワークショップ参加者数の 実績向上により、多くの方の参 加の場の提供としての実績が測 れることで、満足度の向上につ ながると見込んでいる。	目標値	-	60	60	60	60	60
			実績値	80	113				
			達成率	-	188%				
応募出展数(回)	市展出展数	文化活動に参加するための場と して出展数の実績向上により、 多くの方の関心や参加の場の 提供としての実績が測れるこ とで、満足度の向上につなが ると見込んでいる。	目標値	-	320	320	320	320	320
			実績値	316	290				
			達成率	-	91%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
来場者・参加者満足(%)		美術館が開催した1年間の 展覧会にかかる満足度の割合 ※来場者アンケートより	実績値	94	85					95
			達成率	99%	89%					
市展開催総数(回)		市展の開催実績 ※開催実績より	実績値	72	73					83
			達成率	87%	88%					
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

誰もが文化、芸術、歴史の魅力に触れ、学び、楽しみ、新たな文化が創出されている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
維持管理事業	施設、諸設備の維持管理等に要する経費を執行した。2025年度は美術館内の照明のLED化にも取り組んだ。	引き続き定期的な点検や適切な修繕を実施し、美術館施設を適正に維持管理する。
資料収集保存事業	所蔵品の調査業務や修繕などに要する経費を執行した。2025年度は館蔵品図録「中国の金銅仏」を作成、ガラス絵や茶箱などの修繕を行った。	引き続き館蔵品の調査・研究を進め、適切な収集保存により、未来へ引き継いでいく。
平常展覧会開催事業	ガラス絵、日本洋画、仏像など、館蔵品の展覧会(年3回、延べ156日間、総観覧者19,833人)を開催し、多くの市民に館蔵品の魅力を伝えた。また市民が参加する市展(絵画、書、写真、工芸、彫刻を展示、11日間、観覧者6,509人)の開催では、多くの方が文化芸術に親しんだ。	引き続き市の館蔵品に触れる機会や、市民が文化芸術の創作活動に参加する機会を提供していく。
企画・特別展覧会開催事業	特別展「躍動するアジア陶磁」(62日間、観覧者5,429人)、企画展「大ガラス絵展」(94日間、観覧者14,404人)を開催した。また、展覧会に関連する講演会、ワークショップ、ギャラリートーク、親子対話型鑑賞会を開催し、大人から子どもまで、様々な方が文化芸術を楽しむ機会を提供した。	引き続き国内外の優れた作品や地域ゆかりの作品などに触れる機会を提供していく。
秋野不矩美術館管理運営事業	秋野不矩美術館の指定管理者を浜松市文化振興財団へ委託し、施設維持管理状況、特別展や所蔵品展の運営を監督した。2025年度は、所蔵品展(5回、延べ観覧者8,522人)、特別展(3回、延べ観覧者15,770人)、ギャラリートーク、講演会などを開催した。	秋野不矩美術館は、引き続き指定管理者制度により管理運営し、美術資料の展示、調査研究、保存整理を適正に進めていく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
展覧会観覧者数(企画展・特別展の来場者数)について、2025年度の目標値を、2025年度の途中で設定した入場者見込み数としていたが、目標値の設定方法を明確化させるため、R7歳入予算の事業収入算定で用いた入場者数に合わせることにした。2026年度も同様にR8歳入予算で用いた入場者数を目標値とする。	

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

2025年度は、特別展「躍動するアジア陶磁」及び企画展「大ガラス絵展」を開催したほか、市民公募による市展を開催し、芸術を鑑賞したり文化活動に参加したりする場を計画通り提供することができた。 展覧会は、海外から作品を借用するなど大規模な展覧会開催に見合った集客を想定したが、専門家からの学術的な評価は高かったものの、展覧会の満足度は目標を下回り、若年層や新規来館者の集客には至らなかったため、展覧会観覧者数は目標を下回った。今後、展覧会の魅力を広く伝えるため、SNSなど広報活動の充実を図る。 また、ワークショップは、体験を通して新たな学びや気づきを深める場を提供するため、予定回数より多く実施し、子供から大人まで多くの方に参加していただき目標を上回ることができた。 市民公募による市展では、外壁改修のため美術館を展覧会会場として使用できなかったことから、クリエート浜松での開催となったが、限られたスペースを最大限活用するため、LOGOフォームによる事前電子申請に基づく出展を依頼したことで、出展者数は目標値を下回った。展覧会の準備等にかかる効率性の観点から今後も職員による入力サポートなどを行いながら、電子申請による出展申し込みを継続していく予定である。 2026年度以降も、誰もが気軽に立ち寄り、すばらしい芸術や文化に出会える場所として、美術資料の「収集・保存」「調査・研究」「展示・公開」「教育普及」に取り組めます。未来へつながる芸術や文化の伝承と、新たなアート表現への理解を積み重ねながら、展覧会や講演会、ワークショップなどの教育プログラムの充実を通して、深い学びと体験、感動と発見を訪れる方と共有し、明日への希望を見出すことのできる美術館を目指していく。
--